

ぼくは、2年生の頃から空手をやっています  
そして、この空手では努力という事を学びました。  
とくに努力を学んだのは組手のけいぎでした。ぼくは入会した  
時から体格が小さく、組手はとても苦手であまりやる気が出ません  
でした。

しかし、青帯ぐらいになると、どんどんまわりの人が強くなって  
いったため、ぼくもそろそろ頑張らないと思いはじめました。  
この頃から組手でつらくてもしっかりやるようになりました。  
そしてこの努力の長持ちが、今では様々なことに役立っています。  
ぼくはこのような環境を作ってくれた生先方や道場生の人た  
ちに感謝しています。

そして、これからよろしくおねがいします。

石井慶人